

分散登校における感染症対策

R2.5.13 甲府南高校保健教育支援部

◎学校再開に向けて「3密（**密集・密接・密閉**）を避ける」を基本に、以下にあげる注意事項を十分に理解し実践することで、感染拡大防止（**感染しない・感染させない**）に努めましょう。

★【登校にあたって】

「登校する生徒は『感染症状なし』が大前提！！」

- *登校前に必ず検温し「高熱」がある場合は絶対学校に来ない（出席停止扱い）。
 - ・「高熱」かどうかは自分の平熱を踏まえて判断する（自分の平熱を知っておくこと）。
 - ・明らかに平熱より高い場合、休んでも欠席扱いにはならないので無理をせずに休む（自他のため）。
- *乾いた咳や息苦しさ、胸や喉の痛み、強い倦怠感や寒気、頭痛や筋肉痛、下痢、味覚嗅覚異常等の症状が認められた場合も絶対学校に来ない（出席停止扱い）。
- 上記の症状のうち、息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状が確認されたら、学校に報告の上、大至急保健所または医療機関に連絡相談する。
- *できる限りマスクを着用する。
- *登校時、生徒用玄関前で担当の先生に検温カードを提出してから校内に入る（必須）。
- ・忘れた場合は速やかに申し出て指示を受ける。

★【登校したら】

「飛沫を避け、換気と消毒！！」

- *校内でもできる限りマスクを着用する。
 - ・授業中や休み時間だけでなく昼食時等も会話は最小限にとどめ、向き合う形態は避ける。
 - ・咳エチケットを守る。
 - ・うがいや水分補給には自分専用のコップや水筒、ペットボトル等を使い、直接飲んだり手ですくって飲んだりしない。
- *教室の窓は常に開けておく。
 - ・退校時も廊下側上部の窓は開けておく。
- *登校したら必ず手指の消毒をしてから教室に入る（各教室に消毒液を設置する）。
 - ・手で顔を触らない（特に目をこすったりしない）。
- *使用済みティッシュやマスクは原則としてごみ箱に捨てず持ち帰る。
 - ・コンビニ袋やジプロック等に入れ持ち帰り家庭で処理する。
 - ・やむを得ず校内で捨てる場合は廊下に設置された専用のごみ箱を利用する。

★【下校にあたって】

「人との接触を避け、直帰する！」

- *友達と交流したい気持ちは十分理解できるが、感染防止の観点から速やかに帰路につく。
- ・学校の早期正常再開のために一人一人が自覚ある行動をとる。
- *帰宅後必ず手洗い（または消毒）とうがいをし、家庭においても換気を励行する。